

議会だより

目次

第2回臨時会/第2回定例会/ 第3回臨時会報告……………	2～3
委員会の所属変更……………	4
一般質問……………	5～8
合同常任委員会の質疑答弁……	9
研修会報告……………	10～11
議会活性化の取り組み…	12～13
寄稿……………	14



晴天の中、地域で盛り上がった運動会

6月14日、川北小学校（藤吉桂子校長・全校生徒86人）の運動会が晴天の中、開催されました。

児童生徒は、保護者や多くの地域の方々から熱い声援を受け、各競技に汗をかき、紅白対抗の綱引きでは、力を振り絞り頑張っていました。

〈写真は同小学校提供〉

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

令和7年

第2回 臨時会(5月12日) 第2回 定例会(6月17日) 第3回 臨時会(7月3日)

審議内容を報告します

第2回臨時会

議案

〈条例制定〉

- ▽町税条例の一部を改正する条例制定
- ▽標津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

〈財産取得〉

- ▽小型ロータリ除雪車1台(1・3m/700t級)
取得方法:指名競争入札
取得価格:41140千円
- 取得の相手方:(株)NICHIO(札幌市)
- ▽除雪グレーダ1台(3・7m級)
取得方法:指名競争入札
取得価格:38030千円



条例制定や補正予算などが審議された第2回定例会(6月17日)

〈専決処分〉

- 8千円
取得の相手方:コマツ道東(株)中標津支店(中標津町)
- ▽令和6年度標津町一般会計補正予算
出動回数増による除雪・排雪委託料

議案

第2回定例会

30000千円

〈条例制定〉

- ▽標津町まちづくり新計画策定審議会条例の一部を改正する条例制定

〈補正予算〉

- 例制定
担当部署の変更:
総務課→企画政策課へ
- ▽令和7年度標津町一般会計補正予算(主なもの)
・価格高騰緊急支援給付金(令和6年度定額減税補足給付金の令和6年分所得等の実績に基づく差額分給付。全額国補助)
20905千円
- ・地域おこし協力隊活用(協力隊員1名の増員による活動費の追加。4名に)
3222千円
- ・特定公共賃貸(若草公住)住宅(公住へのシャワー設備設置1戸。浴室配管・モルタル塗装、給湯ボイラー設置)
1980千円

〈発議〉

（意見書）

▽ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【提出者／山崎陸郎議員】

▽令和7年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

▽地方財政の充実・強化に関する意見書

▽義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1

／2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

以上3件【提出者／畑中浩 議員】

※意見書は、衆議院・参議院議長、内閣総理大臣等に提出

小川議長が道町村議会議長会表彰を受賞



小川悠治議長（77歳）が、長年にわたる議員活動の功績が認められ、北海道町村議会議長会表彰を受賞。6月17日開催の定例議会で吉田智副議長から表彰状が伝達されました。

小川議長は、平成15年に初当選以来、現在6期目。その間、副議長を3期、現在、議長を務めています。受賞にあたり小川議長は「これを機に議会活性化の取り組みを加速させていきたい」と意欲を燃やしています。

第3回臨時会

町長所信表明（2期目）



所信表明を述べる山口町長

〈重点施策〉

町民の皆さんの笑顔が輝くまちづくり
「協働・協心・協和」

- ① 力強い産業づくり
- ② 町民が安心して暮らせるまちづくり
- ③ 町民の皆様と手を携えたまちづくり
- ④ 行政を推進する組織と職員力の強化

議案

〈補正予算〉

▽令和7年度標準町一般会計補正予算（主なもの）

- ・自治体DX推進（町ホームページリニューアル他）
13173千円
- ・標準文教施設等整備（基本構想・計画策定委託、敷地確定測量）
14735千円
- ・まち・ひと・しごと創生本部活動費（西南大学との連携事業、シティプロモーション）
7508千円

副町長に星氏再任



7月3日、臨時議会で現副町長の星京子氏（65歳）が全会一致で再任されました。

星氏は2期目。「行政を推進する組織と職員力の強化のため精進していく」と抱負を述べました。

任期は令和7年7月15日から令和11年7月14日まで（4カ年）。

〈同意〉

▽固定資産評価委員の選任について

星 京子氏（再任）
任期は令和7年7月15日から令和11年7月14日まで（4カ年）

委員の所属が変更になりました

令和7年5月12日開会の令和7年第2回標津町臨時会において、標津町議会委員会条例1章「通則」第3条及び第5条に基づき、議長の指名により、当該委員の所属

委員会が変更になりました。

また、各組合議会及び広域連合議会議員が選任されました。

所属は下記の通りです。

委員の所属変更

総務経済常任委員会



藤本委員長



石橋副委員長

〈委員定数〉6名

〈任期〉令和7年5月12日～令和9年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 藤本 靖

副委員長 石橋 昌幸

委員 南 憲治

西山 易男

山崎 英司

※【一】の委員は複数所属

文教福祉建設常任委員会



畑中委員長



山崎副委員長

〈委員定数〉6名

〈任期〉令和7年5月12日～令和9年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 畑中 浩

副委員長 山崎 陸郎

委員 吉田 智

〃 藤本 靖

数間 景子

※【一】の委員は複数所属

議会運営委員会



山崎委員長



藤本副委員長

〈委員定数〉5名

〈任期〉令和7年5月12日～令和9年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 山崎 陸郎

副委員長 藤本 靖

委員 吉田 智

畑中 浩

石橋 昌幸

広報特別委員会

〔令和5年第1回臨時会にて選任〕



畑中委員長



藤本副委員長

〈委員定数〉4名

〈任期〉令和5年5月10日～令和9年4月30日

〈委員会構成〉

委員長 畑中 浩

副委員長 藤本 靖

委員 吉田 智

西山 易男

各組合議会及び広域連合議会議員の選任

議員の選任

根室北部衛生組合議会

議員

小川悠治・吉田 智

畑中 浩・山崎陸郎

根室北部消防事務組合

議会議員

小川悠治・吉田 智

藤本 靖・石橋昌幸

中標津町外2町葬斎組合議会議員

小川悠治・吉田 智

畑中 浩・山崎陸郎

根室北部廃棄物処理広域連合議会議員

小川悠治・吉田 智

畑中 浩・山崎陸郎

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し新規政策を提言するなど議員の重要な活動です。

町政のそこが聞きたい

◆令和7年第2回定例会(6月17日)で3議員が一般質問をしました。
各議員の町長への質問項目とその内容を要約して掲載します。

▼質問中の3議員

6 頁

吉 田 智 議員



- 【前門の虎】切迫する『千島海溝沿い地震』と【後門の狼】発生率不明の『標津断層帯地震』

安全・安心に暮らせる
災害に強いまちづくりを！

7 頁

石 橋 昌 幸 議員



- まちづくり・地域を守るための
標津町の将来像を質す！

8 頁

数 間 景 子 議員



- 公衆トイレの
拡充を求める！

問

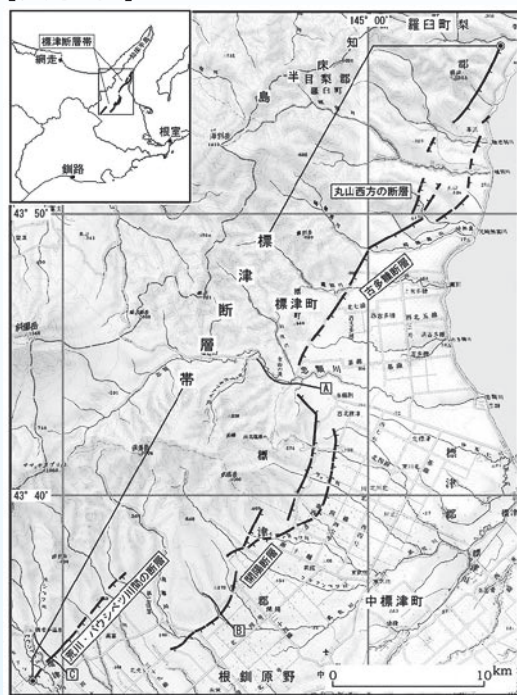
【前門の虎】切迫する『千島海溝沿い地震』と
【後門の狼】発生率不明の『標津断層帯地震』

安心・安全に暮らせる
災害に強いまちづくりを！



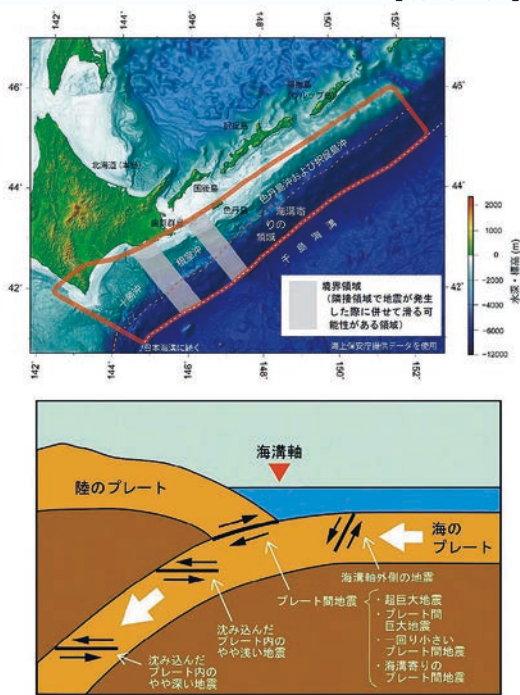
吉田 智 議員

【後門の狼】



標津断層帯の位置図

【前門の虎】



千島海溝周辺の地震発生領域
(上:平面図 下:断面図)

答

防災意識を高め体制を整え
『備えあれば
憂い無し』としたい！

問 標津町は、海側が「千島海溝沿い地震」「山側は「標津断層帯地震」の脅威に晒されている。千島海溝沿い根室沖のM7・5～M8・5程度の巨大地震が30年以内に発生する確率が80%。標津断層帯を震源とする地震は、※発生率不明ながら、M7・7以上程度で、山側で4倍程度の隆起又は撓みが生ずると報告されている。

正に【前門の虎、後門の狼】の状況にある。町は、「町民の笑顔輝く『政策パッケージ2025』」を推進しているが、笑顔は安心・安全に暮らせる事が担保されている事が前提となる。

「安心・安全に暮らせる災害に強いまちづくり」が求められるが、町長の所見を質す。

※発生率不明: データ不足で地震発生確率を算出できない。しかし、近々に発生する事が否定できない。

答 議員のご指摘の通り当町の地震に関する脅威は、【前門の虎、後門の狼】の状況にある。

この状況を町民に意識していただき、防災学習やHUG学習をモデル地区を選定して開催し、防災意識を高め全町的に広めて行く。

災害時のマンパワーの充足に『応急対策職員派遣制度』を近隣自治体と協議・検討し、登録・活用に関しては足並みを揃えて行く。

現在計画中の防災拠点機能を有した『標津町小中学校体育施設整備』の整備完了後に、大規模な防災避難訓練を実施する。

道内において震度4程度の地震が頻発している。防災に万策を尽くし、『備えあれば、憂い無し』としたい。



石橋 昌幸 議員

問

まちづくり・地域を守るための 標津町の将来像を資す！

答

7月上旬の臨時会で 所信表明として述べさせていただく

問 第1回定例会にお

いて、町長は4年任期最後の締めくくりとなる町政執行方針を述べた。

基幹産業の対応として酪農業は、2年連続で生産量・販売高が過去最高を更新しているが、反面、酪農戸数は減っており、資材・家畜飼料・燃料や担い手確保、新規就農者支援、感染症対策、乳製品低迷などにどのように対応していくのか。

もう一つの基幹産業の漁業は、昨年の総金額は前年より少し増加したが、これは全道的な水産資源の減少に伴う需要増によって単価が上がっただけで、本町の水産資源としては下がっている。私は思っている。水産加工場も仕事が無くて困っている。力強い

水産業づくりを目指し、若い漁業者が将来に希望を持てるような資源づくり支援をどのように考えているのか。



「試せる大地 標津町」

もう一つは物価高騰への対応である。町長は執行方針の中で国の支援を最大限に生かしつつ、各種支援を地域の状況を見ながら対策していくと、地域の産業復興へ新しい技術やアイデアを持ったスタートアップ企業の実証実験を積極的に受け

入れると言っている。これらの対応はどのように行っていくのか。

最後に人口減少の対応として、平成26年からの政策パッケージが開始され、人口減少に一定の歯止めがかかったことは間違いない。だが状況は変化している。高齢者の寿命も延びており、この人たちの終の住処として支援していくことも必要だと思う。これらのことについて町長の考えを聞きたい。

答 7月召集予定の臨時会において、所信表明として具体的な政策を述べさせていただくが、選挙で公約として述べたこともあるため、基本的な方向性についての答弁とさせていた

だ。当町の基幹産業については、石橋議員と同

じ認識を持っている。そして基幹産業は他の産業、人口問題にも直結しており、安定維持なくして町は成り立たず、しっかりと支えていくことが大事。これに加えて昨年度からの「試せる大地標津町プロジェクト」は継続的に取り組んでいき、栗やクランベリーなどの林産物による新たな産業づくりも進めていきたい。

検討されている防災機能を備えた教育施設の更新や複合化については、町民の皆さんの意見を伺いながら実現したいと思っている。その他多くの課題、取り組むべき政策はあるが、町民の笑顔輝く町、生き生きと暮らしている町こそが魅力ある町であると考えている。



数間 景子 議員

問 公衆トイレ の拡充を求 める！

答 現在設置されて
いるトイレを利
用していく

問 町民から公衆トイレが少なくて不便だ、市街中心部にもう少し公衆トイレがあったら安心して外出できるとの声があった。体調を崩した人にとっても、緊急かつ救いの場でもある。

老若男女問わず、幅広い町民が利用しやすいくなるよう、公園の管

理期間の拡大とトイレの場所表示について見解を伺う。

答 町内には一般の方が利用できるトイレとして公衆トイレ、それから公共施設内のトイレまた民間施設のトイレなど約20ヶ所が使用可能な状態である。積雪や凍結防止のため冬期間は閉鎖しているトイレが半数ほどある。

公共施設内のトイレであれば、もちろん管理する職員がいるため綺麗に保つことはできる。屋外に設置してある通りの場合、常時管理すると言っ難しさがある。また、落書きや破損のいたずらの対象にもなってしまうケースも見られる。過去には、町内の公衆トイレにおいて事件が発生したことや、利用頻度の低さや管理の大変さが

ら、場所によりトイレ設置の廃止をしているという現実がある。

その代わり町内の教育施設、また公共施設の開館時間などに使用可能なトイレを利用いただくことで対応可能と考えている。

町民が利用する時間や時期を選んでいただければ、施設内のトイレ利用に関しては可能かと思っているのですが、この点はご理解をいただきたい。



公共施設(文化ホール)

問 海の公園には、近くに標津番屋のトイレがあり、海の公園を利用する人は、標津番屋のトイレを利用する事になる。しかしトイレの表示がちゃんと見えない現状もある。

また、トイレの利用期間も10月末となっているはずだ。トイレの表示も見にくく、対応が必要と思われる。

答 海の公園のトイレについては、長期間使うとなると、冬季間の管理の問題から、凍結防止の中にも十分配慮しなければならない。

現在、10月末までの利用期間だったものを、12月までは使えるように利用期間を延長している。

トイレ場所や利用期間の表示に関しては、出来る限り、利用者に配慮していると思って



しべつ海の公園トイレ

いるが、より利便性の向上は考えて行きたい。

数間議員

利用期間の延長は、海の公園、標津番屋の利用者にとっては非常にありがたい話だ。

また、トイレ位置の表示についても、より見やすくと言う事で理解したい。

6月5日

合同常任委員会

質疑答弁の要旨

(抜粋して掲載)



標準病院 令和7年度

病院事業会計 補正予算

算(骨密度測定器購入

について

Q 西山委員 今までな

いものを購入するにあ

たり今後の使用頻度と

しては？

A 工藤主査 現在の健

診項目にはなく、今後

はこの機械を用いるこ

とで治療を強化、投薬

や注射ができる。

建設水道課 下水道ス

トックマネジメント計

画に基づく処理場電気

設備(中央監視装置)

改築更新事業について

Q 西山委員 施設は令

和10年3月で完成予定

か。また【事後保全】

も社会整備交付金事業

対象になるのか。

A 立島課長 令和10年

までには完成させたい

が現実的には難しい。

交付金の関係で、機器

製作の年、設置だけの

年となる可能性も。10

年はあくまでも目標と

なる。事後保全も予防

保全も、道に申請し、

承認となれば対象とな

る。万が一計画以外の

ものが故障した際も、

繰り上げて申請するこ

とで更新が可能。

保健福祉センター 高

齢者サロンの送迎対応

について

Q 吉田議員 以前から

懸案事項。ひまわりが

主体となり社協に移行

するのは有難い。サロ

ンでの食事が上がった

てない。米価格等、値

上がりしているが、現

代の状況にあった値上

げをしないと、満足い

く食事にならないので

はないか。

A 大垣参事 町介護保

険の事業で助成金を出

しているが足りない。

サロンで差はあるが、

利用者が500円ほど

負担すること。助成

金の見直しを協議、検

討する。

Q 南委員 社協の人事

について、副町長から

は2月をもって決定す

るとあったが？

A 星副町長 新しい事

務局長は4月から勤務

している。社会福祉士

も採用決まっているが、

まだ前職場に勤務中で、

7月から勤務する。資

格も取ったばかりのため

徐々に体制が強化され

る。また役員も7月

から変わる予定となっ

ている。

企画政策課 北方領土

啓発に関する有識者会

議について

Q 西山委員 北方領土

館は、修学旅行はもち

ろん、地元住民にも本

当に必要なもの。住民

が納得できる形が一番

であるため、慎重に進

める事が必要だ。

A 境課長 施設も外務

省管轄である。取り壊

すとなれば国の対応と

なる。建てる際は、建

設場所、どういった施

設として活用するか

の問題がある。その場合

は住民や一世二世三世

の声を確認しながら、

一緒に詰めていくこと

が必要と考える。

教育委員会 小中学校

体育施設整備について

Q 吉田委員 建設予定

地図は以前も提示され

潰すことになる。

A 朝倉課長 予定地に

ある野球場や鳩ヶ丘体

育館などは、体育施設

運営部会で移転場所を

模索中。今の野球場を

取り壊す前には、別の

野球場を整備できるよ

う計画している。今後、

取り壊した学校跡地の

活用なども含めた基本

構想を提示することにな

る。

進学・移住・定住促進

「みらい応援住宅」実

施要綱の制定について

Q 吉田委員 教員住宅

が空いている。その中

で使える空き住宅をこ

のように活用していく

のか。使えない住宅は

取り壊すのか。

A 朝倉課長 もしこの

活用法が好評であれば

他の教員住宅整備など

も考えられ対応できる

形で今後も検討したい。

全項目(要点記録)をご覧になりたい方は、議会事務局までご連絡下さい。(☎85-7249)

研修会報告

全国町村議会議長会主催

令和7年度 町村議会議長・副議長研修会

5月27日 於:東京国際フォーラム ホールA

北海道町村議会議長会主催

令和7年度 北海道町村議会議員研修会

7月8日 於:札幌コンベンションセンター



挨拶中の渡部孝樹会長
(北海道厚真町議会議長)

◆全国町村議会議長会主催の令和7年度町村議会議長・副議長研修会が、5月27日に東京国際フォーラムのホールAにおいて開催された。
当議会より、小川悠治議長、吉田智副議長の両名が出席した。
全道の町村議会より議長56名、副議長55名、事務局(随行員)23名の134名、全国より約2千名の出席者となった。
全国町村議会議長会の渡部会長の挨拶後、下記3名の講師による基調講演を傾聴した。

講演1

午後1時5分～午後2時5分

広域災害対応を含めた自治体の 災害対応力強化に不可欠な「防災DX」

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災デジタル・物資支援) まつもと 松本 しんたろう 真太郎 氏



★災害対応力の強化に不可欠な「新総合防災情報システム(SOB-WEB)」との連携・利用拡大と「新物資システム(B-PLo)」及び「クラウド型被災者支援システム」等の「被災者支援DX」の導入・利活用を促した。

講演2

午後2時25分～午後3時25分

平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題 ―― 自治体実務の立場から ―

明治大学名誉教授 あおやま 青山 やすし 侑 氏



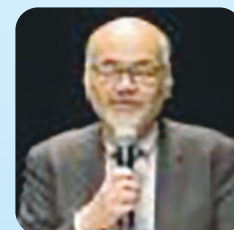
★東京都福祉局部長、同政策報道室計画部長、同副知事等の自治体実務で体験した平成からの災害から学んだ、「復旧・復興まちづくり」の課題を提示した。

講演3

午後3時45分～午後4時45分

災害と議会・議員の役割

同志社大学名誉教授 にいかわ 新川 たつろう 達郎 氏



★災害対策プロセスへの議会の参加、執行機関との連携の課題を提示し、議会の防災計画、災害対策体制整備等の検討を促し、「議会災害対策会議」の設置を提唱した。



約1600人が参加した会場の様子

◆令和7年度北海道町村議会議員研修会が、7月8日に札幌コンベンションセンターにて開催され、当議会より小川議長と文教福祉建設常任委員会委員4名が参加した。

当研修会は、北海道町村議会議長会が主催、公益財団法人北海道市町村振興協会が後援となり、町村議員の資質向上を目的に毎年7月に開催され、当議会では、二つの常任委員会が交互に隔年で参加している。

北海道町村議会議長の渡部会長の挨拶後、2部構成の講演会が開催された。

第1部

午後1時10分～午後2時40分

「地方議会における議員の多彩化に向けて ー地域社会の「鏡」としての議会を考えるー」

西南学院大学 法学部教授 **勢一 智子** 氏



★講師は①人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすもの ②住民自治の危機？ ③地域の「鏡」としての地方議会とは？ ④第33次地方制度調査会「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」 ⑤地方自治法改正の意義 ⑥時代に求められる地方議会に向けて の六つの視点に立脚し論じた。

第2部

午後3時00分～午後4時30分

「人口減少社会を 生き抜くために」

人口戦略会議 副議長 **増田 寛也** 氏



★講師は「人口減少」に関して(1)北海道総合開発計画【事例①～⑤】 (2)地方創生2.0【好事例の普遍化に向けて】 (3)日本列島改造論／地方創生1.0／地方創生2.0の比較 (4)「地方創生2.0の基本構想」の概要 を通し分析し、地方議会人である聴講者に対して、「若者」や「女性」に選ばれる地方社会の構築を要望し講演を終えた。(※勢一講師も同内容で結んでいる。)

◆7月8日、小川議長と文教福祉建設常任委員会委員4名は、株式会社マルベリー「北海道介護現場業務改善総合相談センター」を訪れ、視察を行った。

最新の介護ロボットとICT機器の視察・見学と試用体験を行い、これらの導入により、介護業務の著しい改善が図られる事を実感する事ができた。

常任委員会の動き

道内視察研修

文教 福祉 建設 【道内視察研修】7月8日

於：株式会社マルベリー
『北海道介護現場業務改善総合相談センター』
(札幌市新川6条20丁目1番1号)

▲同社は①福祉用具の賃貸・販売②要介護者向けの住宅改修③介護ロボットの導入を主要業務としている。



マッスル ロボヘルパーSASUKEで車椅子への移乗を体験する数間議員

【移動用リフト②】
●専用シートの両端の穴にアームを差し込み昇降させることでベッド⇄車椅子の移乗がスムーズに行える。簡単操作・シンプル手順なので一人で介助可能。



FUJI Hug L1-01でベッドへの移乗を体験する吉田議員

【移動用リフト①】
●身体保持部へ寄りかかるだけで準備完了。トイレ介助での更衣・お尻のケアがしやすくなっている。コンパクト設計で移動も楽々。

第6回議会活性化サポート事業
「標津町議会議員研修」開く

「議員は住民と向き合うこと！」

議会活性化の取り組みを進めています

5月29日、第6回議

会活性化サポート事業・標津町議会議員研修会が町議会第1委員会室で開かれました。

講師は北海道町村議会議長会参与の勢簾了三氏。演題は「住民と議会の相補関係性」。その要旨を報告します。

①議会関係ニュース記事点描

〈標茶町議会〉

予算案組替え要求・一部執行凍結を可決

〈斜里町議会〉

全員協議会を非公開・記者の傍聴を事務局拒否、事務局が取材拒否を謝罪

〈上富良野町議会〉

町長が予算修正案を

「再議」

〈道内議会〉

「やらせ質問」まん延・なれあい議会、住民不在

〈八雲町議会〉

議員養成講座を開催（10人参加）・「勉強になった」の声

以上、令和7年3月4月のニュースから。

②再議と議会

〈二時不再議と再議〉

「二時不再議」とは、同一会期に同一事件を



「議会は住民を映す鏡」と話す講師の勢簾氏

再び議題にしないとする会議原則のひとつ。

「再議」とは、長が議会の議決に異議がある場合、議会に審議と議決のやり直しを求めること。

〈再議の事例〉

芽室町：消防団条例の修正議決に対する再議。結果、前の議決どおり再議決

せたな町：町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例に対する再議。結果、当該事件不成立

③議会講演会

住民への標津町議会報告会の「前哨戦」として、議会講演会を8月24日に開催する。

開かれた標津町議会を目標するために開催す

る。

議員一人ひとりの声掛けで、参加人数は町民1000人を目標設定とする。

詳しくは、P13参照。

④議会活性化の取り組み

〈委員会運営〉

各委員会では、テーマを絞らず議員間討議（フリートーク）が重要。

合同常任委員会での意見を議会だよりにフィードバックすること。本議会前に熱心に議論しているのだから。

〈議会報告会〉

まずは住民と向き合うためにも実施すべき。各委員会の活動報告後、住民との懇談会を行う。議会の力量につながっていく。

～ 開かれた議会をめざして～

標津町

議会講演会

入場
無料

8月24日(日)

13:30～16:00

標津町生涯学習センター「あすばる」
(標津町南1西5)

「開かれた議会」づくりの一環として、専門家のお二人を招き、初めての議会講演会を開催します。

町民皆さん、お気軽にご参加ください。

よしだ としひろ
吉田 利宏氏



せはた りょうぞう
勢旗 了三氏

*基調講演「議会の今そして未来」勢旗 了三 氏（北海道町村議会議長会参与）

*特別講演「住民に期待すること、議会に期待すること」

吉田 利宏 氏（議会アドバイザー・元衆議院法制局参事）

*質疑応答（参加者からの質疑ほか）

主催 標津町議会

お問い合わせは議会事務局まで（電話）0153-85-7249

議会のDX化を推進

会議システムで運営強化に努めます



タブレット端末導入デモの様子

標津町議会は、活性化の一つでもあるDX（デジタルトランスフォーメーション）デジタル変革）化を進めるため、タブレット端末によるペーパーレス会議システムを導入しました。

情報伝達の迅速化や議会運営の効率化などを目的として、昨年11月下旬に全議員へ貸与して定例会や委員会等で運用しています。

また、これまでフ

ックスでやり取りしていた連絡や郵送していた通知も、ラインワークス（ビジネス版チャットシステム）導入により、お知らせやスケジュール管理を行うことによって経費削減、情報伝達の迅速化が図られています。

今後は、議案や資料などのペーパーレス化やリモート会議などにも取り組みを進めていく予定です。

▼会議システム

「Side Book

S」

▼端末 iPad/i13インチ（セルラーモデル）

▼LINE WORKS

寄稿



47年住んだ東京を離れ

地域おこし協力隊

森林インバースョンマネージャー

長谷川 智彦
はせがわ のりひこ

47年住んだ東京を離れ、北海道標津郡川北に移住して早2ヶ月。

都会の感覚なら「そろそろ新居にも慣れた頃だよね」なんて言う時期だけど、こっちはそんな悠長なペースじゃない。

何をしていても、濃度が違う。

来て早々、動物の解体に立ち会う機会が次々と巡ってきた。

ずっと興味はあったけど、「そう簡単にできるもんじゃない」と思っていた。

それが、気がつけばヒグマ2頭に鹿1頭の解体に参加させてもらっている。

いずれも「今日やるけど来る？」という、散歩

の誘いみたいなテンションで始まるのが標津らしい。

最初に見たヒグマはいわゆる「冬眠明け」の個体で、地元のハンターさんいわく若い熊らしい。

それでも吊るされた姿の存在感は圧倒的で、思わず「でか」と声が出た。

毛皮の厚み、皮の重さ、脂の層。骨格が露わになるたびに、東京で暮らしていた頃とはまったく違う現実を前にしている実感があつた。

「これがこの土地で生きるってことか」と、どこか他人事のように思いつながらも、手はちゃんと動いていた。

少し前まで、満員電車に詰め込まれていた自分

が、今は熊や鹿を捌いている。

予定していたわけでもなく、気がついたらそうなっていた。

このスピード感に自宅で一息ついたとき、思わず笑ってしまった。

ただそれにしても、虫が多い。とにかく多いし、



町内林道にて作業中

大きい。

道は荒れているところも多く、信号なんてほとんどない。

「暮らしにくそう」と思う人もいるだろうけど、自分にはそれがちょうどいい。

標津には、都会のような便利さや賑わいはない。でもその代わりに、自然との距離感がやたら近い。というか、むしろ巻き込まれるに近い。

ヒグマを解体し、その肉を自宅で食べた夜。

「都会じゃ絶対にできなかったこと」を、こんなにもあっさり体験している自分にちょっとだけ面白がっている自分があった。

まだ2ヶ月。たった2ヶ月で、ここまで景色が変わると思っていなかった。

これから先、どんな初めてが待っているのか、楽しみは尽きない。

編集室



議会にタブレット端末が導入されました。小中学校では、自宅でもリモート授業が出来るなど町内も至る所でITが活躍するようになりました。今から20年ほど前、町内に高速のインターネット回線を敷設しようと、標津町等に働きかけたのが思い出されます。当時は「そんなものどうするんだ」的な空気が多く、話を聞いてもらうにも苦労しました。町民から光回線導入のアンケートを実施し、今のインターネット環境が出来上がったのです。IT化の波は、これからも進歩を続けて行くでしょう。

(藤本 靖)

議長 小川 悠治

広報特別委員会

委員長 中 浩 委員 吉田 智
副委員長 藤本 靖 委員 西山 易男